



財団法人 成長科学協会

理事長 鎮目 和夫

このたび第二回の公開シンポジウムを開催する運びとなり、この研究委員会がだんだんと皆様に近い存在となってゆく様で大変嬉しく存じます。私共成長科学協会は、昭和52年主として身体的な成長障害を助けるための研究や研究助成をする目的で設立され、これまで成長ホルモン剤を作るためのヒト下垂体の収集やその提供者の登録、人の成長に関する研究、成長障害者の診断・治療に関する指導、協力等を行って参りました。しかし次代を担う日本の子供たちの心の発達が、身体の成長にもまして大切なことを考え、昨年協会内に「心の発達研究委員会」を設置、活動を開始した次第です。

前回に引き続き多くの方々にご参加頂き、ともに子供の心の発達について考え、有意義な時としたいと思っております。



心の発達研究委員会

委員長 岡 宏子

子供の発達がおかしいのではないかといわれ始めてからかなりの年月が経過しています。体格は良いのに体力が劣る、に始まる子供の成人病まで含む身体的症状、意欲がない、根気がない、思いやりのないなど、何か心の発達に問題があるのでは？を示唆する幾多の現象も、保育園、幼稚園、小学校、中学、高校にいたる各種教育現場、家庭の親たち、またこれらの問題がもち込まれる相談の専門家等々から報告されています。このような事態をふまえ、果して心の発達は本当におかしいのか、歪みがあるとしたならばその原因は何か？を追求し、これらの心の発達をめぐる問題について、どうしたらよいか、その対策を考える必要に迫られているといえます。

「心の発達研究委員会」は、今回はこの問題に真正面からぶつかって「子供の発達は本当におかしいのか」、そしてどうしたら良いかを追求します。

「子供の発達は本当におかしいのか」という当研究委員会発足のそもそもの動機となり、又諸活動の基底であるテーマに、正面から取りくみ、体・心そして活動の面からも徹底的に追求してみたいと思います。子供に成人病が増えた、無気力、根気がない、目が輝かない、深く考えない等々、その日常行動の特徴とされるものの奥に心身の発達の歪みの存在を感じるというのは、ただ一部の人の主張なののでしょうか？子供の発達やその歪みを問題にし、憂慮はするものの、「何を、どこを、どうしたら良いのか」に直接つながるような取りくみは、まだ多くないようです。

子供たちの発達は、時代と共にまた社会と共に変化するものであることは当然のことです。でも人の生涯とその発達という一生の長さとその活動、その中で発揮される人間の活動というスケールの中で、現代の子供たちが示す発達の姿を考えてみた時、「変化はあたりまえ、現代の子供の姿をとやかく言うものではない」とは、言っていられないように思います。

人の活動には何が求められ、そのためにはどんな人間としての感性や能力が子供時代に育てられる必要があるのでしょうか。その点を考えることで、今の子供たちの行動特性の何が憂慮されることで、何がただの変化として受けとめられることなのかがわかってくる筈です。今の子供たちの姿を明確に把握し、その上で次代を担う子供たちに、親は、教育者は、社会は、これから何ができるのか、何をする必要があるのであれば十分に検討してみたいと思います。

- 心の発達研究委員会
- 委員長 岡 宏子(大学セミナーハウス館長、聖心女子大名誉教授)
  - 委員 東 洋(白百合女子大児童文化学科長、東大名誉教授)
  - 〃 小林 登(国立小児病院長、東大名誉教授)
  - 〃 原ひろ子(お茶の水女子大女性文化研究センター教授)
  - 〃 大野澄子(聖心女子専門学校保育科長、日赤医療センター)
  - 〃 丹羽洋子(育児文化研究所長)
  - 〃 森 玲子(東京都立川高等保育学院)
  - 顧問 鎮目和夫(成長科学協会理事長、東京女子医大名誉教授)

テーマ 「子供の発達は本当におかしいのか」

司会 岡 宏子

18:00~19:20 開会 あいさつ  
問題提起  
演者からの提言

鎮目 和夫  
岡 宏子  
大國 眞彦  
西丸 震哉  
河合 洋  
坂元 昂

19:20~19:30 休 憩

19:30~20:50 ディスカッション  
山村留学の話

青木 孝安

大國 眞彦

日本大学医学部小児科。  
子供の成人病について、多くの症例をもつ。身体的な側面からの子供の変化を  
医師としての真実な目で。

西丸 震哉

食生態学研究所長。千葉大学講師。  
子供の寿命41歳説提唱者。孤島に子供を集め、共に生活してみた体験ももつ。  
現代っ子の特異な行動特性から、子供たちの将来に警告を発している。

河合 洋

児童精神科医。  
現代の教育あるいは社会環境から生じたとみられる心身の問題をもってしまっ  
た子供たちと親への相談と助力に力を注いでいる。

坂元 昂

大学入試センター副所長。東京工業大学名誉教授。  
機械文明をただ否定的な目でみず、それらを教育にどうとり入れることが、新  
しい人間の能力を開発するかの問題に長年とりくむ。

青木 孝安

山村留学25年「財団法人 育てる会」 理事長。  
自分本来の姿とは？ 一山村に留学しそこで生活することによって、自己をと  
り戻してゆく子供たちの姿から「何をしたら良いか」の示唆を。

●次回(第三回公開シンポジウム)について

平成6年1月8日(土) 午後1時より  
テーマ 「働く婦人と子供」  
有楽町 マリオン朝日ホールにて